



日本共産党 品川区議会議員

Japanese Communist Party

区政報告

2022年1月2日
No. 347

安藤たい作
ニュース

バックナンバー

品川 安藤たい作ニュース

検索



twitter

@andotai

saku



私のNIPPONの
好きな所ランキン
グ

1. 9条がある
 2. みんソ・漬物・ご飯
 3. お菓子の7割
- あなたは？

漫画：安藤たい作

2022年

区民の命とくらし・憲法守る区政への転換へ全力



年末に久々に行われた羽田新ルート中止を求めるアピールパレードは22回目、121名。品川羽田議連の議員も参加しました。

コロナで問われた政治の役割
2021年は、引き続き新型コロナ感染症の猛威が吹き荒れ、区民の命と暮らし・営業を直撃した年でした。こういう時だからこそ政治の役割が問われていました。が、自公政治は五輪強行や75歳以上の医療費2倍化、病床削減など、逆行に逆行を繰り返し、政治不信は広がりました。

国の意思伝達機関と化する品川区

では、住民に最も身近な地方自治体である品川区はどうでしょう。本来の地方自治の本旨である「住民福祉の増進」と「団体自治」（国から独立した地方公共団体が原則として、国の監督を排除して、自主・自律的に、直接間接、住民の意思によって、地方の実情に即して、地方的行政を行うべきこと）*「註解 日本国憲法」この精神を放り投げ、国の意思伝達機関と化しています。超高層開発や道路、羽田新ルート、リニアの推進など、一部の巨大企業の利益を優先するばかりで、住民の願いに背を向け続けています。



一方で、総選挙に見る市民と野党の共闘での成果や、区内で広がる様々な分野における運動の拡がり（裏面の写真にて紹介）は今後の希望です。（裏面に続く）

ニュースへのご感想
をお寄せください

区議控室 Tel 5742-6818/FAX 3778-3088
事務所 西品川 3-16-3 Tel/FAX 3491-3230
taisakuando19740217@gmail.com

*当ニュースは、議会活動および区政に関する政策等の広報活動に要する経費等をまかなう「政務活動費」で発行されています



武蔵小山に新たに3棟、計5棟ものタワマンを林立させる事になる再開発に少なくない地権者が反対、手続きの中止を求める請願が提出。自公らの反対多数で否決も、党派を超え賛成に回る区議は増えました。開発問題での共同は画期的。今後が正念場です。(2021/12/9)



29号線道路の認可取消し求める裁判が結審。世論と運動で、当時の都担当課長と都市防災の専門家、2人の証人尋問を実現させました。5/18が判決となります。(2021/12/15)

(続き)改憲勢力である自・公・維新は夏の参院選で昨年総選挙に続く3分の2の議席獲得で憲法9条の明文改憲を狙います。今年2022年は戦後民主主義にとって正念場の年となります。最悪の人権侵害は戦争ですが、日本国憲法は9条だけでなく数々の人権条項を備えた先駆的な内容を含んでおり、これを変えるのでなくむしろ活かす子ども、ジェンダー平等などあらゆる分野で人権と個人の尊厳が守られ

る政治をつくることこそ必要です。



羽田議員で議長に要請し実現させた、国交省による羽田新ルートの「固定化回避検討会」の品川区議会への説明会。(2021/12/10)



佐藤学氏、香山リカ氏、池田香代子氏などの呼びかけで毎年行われている「憲法と子育て・教育を考えるつどい」にオンライン参加。品川から教育カフェの実践の報告もありました。(2021/12/18)

戦前はまた、国の中央集権的官僚行政の単なる一機構と化していた地方行政が国と一丸となって侵略戦争に突き進みました。それを、新たに章を設け、「地方自治」を位置づけたのも日本国憲法でした。憲法を守り活かして、住民の命とくらしを守り住民が主人公の政治への転換へ、一緒に力を合わせましょう。私も全力ががんばります

安藤たい作

日本共産党

1月無料法律相談会 1/18(火) 18:30~20:30

【会場】安藤たい作事務所 【主催】共産党品川地区委員会

*予約制(5742-6818(控室)または3491-3230(事務所))

お困り事がありましたら、上記日程に関わらず
お気軽にご相談下さい。



安藤たい作プロフィール

1974年仙台市生まれ。宮城教育大卒。漫画家を志し1998年上京。2002年コミック誌奨励賞受賞。派遣社員4年を経て、2006年区議補選で初当選。2019年〜4期目へ。家族、妻・二女。